

授業科目 基礎作業学概論

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	作業	
岡村 太郎		開講時期	前期	必修・選択	必修	
		単位数	1	時間数	15	
<一般目標：G I O>						
作業療法士として作業を治療、指導、及び援助に適切に使用するために、人間と作業に関する生物学的、心理的、社会的、文化的関係を理解し、作業を分類、分析し、指導する方法を理解する						
<行動目標：S B O>						
1. 作業療法と作業の関係を歴史的、定義を述べることができる 10. 文化と作業の関係を述べるができる（歴史と環境から活動・参加をみる）						
2. 作業活動の分類しその意味を述べるができる 11. 作業に必要な基礎能力（作業遂行の理論的枠組み）が述べられる						
3. 脳の発達と作業について述べるができる 12. 作業の治療的要因（作業遂行と活動の障害から）を述べるができる						
4. 記憶・学習と作業の関係について述べるができる 13. 作業療法の治療構造とその要素について述べるができる						
5. 模倣・習熟過程と作業の関係を述べるができる 14. 作業分析（包括的、限定的）の目的、考え方が言える						
6. 身体と作業の関係を述べるができる 15. 包括的作業分析の代表的な方法が述べられる						
7. 手と作業の関係を述べるができる（手と神経回路中心に）16. 代表的な包括的作業分析がひとつ施行する						
8. 心と作業の関係について述べるができる						
9. 作業活動の分類を述べるができる						
回数	授業計画又は学習の主題			SBO	学習方法・学習課題又は備考・担当教員	
数				番号		
1	作業について			1. 2		講義 岡村
2	人と作業			3. 4. 5		講義 岡村
3				6. 7. 8		講義 岡村
4	作業と治療			9. 10		講義 岡村
5				11. 12. 13		講義 岡村
6	作業分析			14. 2		講義 岡村
7				16	講義 岡村	
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格・その他>				
教科書		作業療法学全書第二巻「基礎作業学」協同医書出版 1999 2,600円				
参考書		作業・その治療的応用 日本作業療法協会編集 協同医書出版 1999 8500円 ひとと作業・作業活動 山根 寛 三輪書店 1999 3300円				
その他の資料						
【評価方法】		【履修上の留意点】				
試験施行（出席点とレポート点）		欠席した場合 一回につき10点の減点があります。欠席課題レポート提出すれば加点あり。				